

検討対象地区の地区別現況まとめ

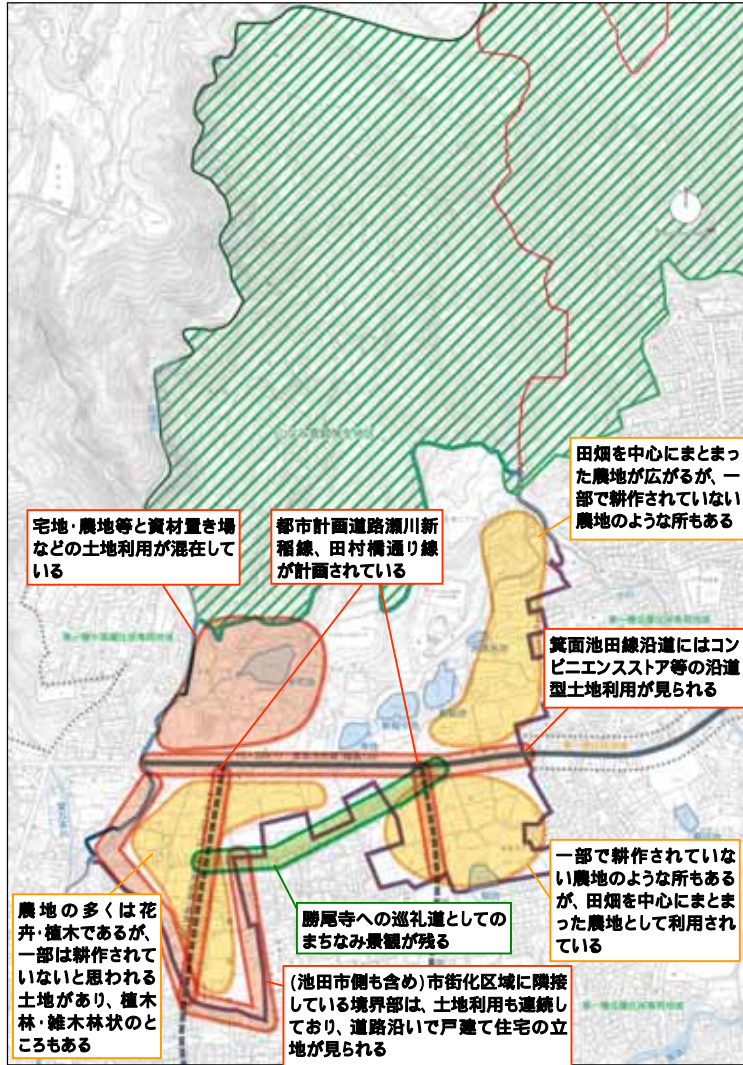
地区名	上位計画での位置づけ	地形・なり立ち・自然・景観など	土地利用 など				営農状況	まちづくりの経緯	土地所有者の意向(アンケート結果)
			土地利用現況	基盤整備の状況	開発の状況	地区周辺の状況			
新稲地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>第四次総計：市街地ゾーンに位置</li> <li>都市 MP：市街化区域編入検討地区</li> <li>みどり・都市景観：山麓部のみどりの保全、農地・ため池の保全、歴史や文化を感じさせるまちなみの保全・たたずまいの継承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山麓部から南に傾斜が続く、集落と農地が広がる</li> <li>勝尾寺への巡礼道が東西に通じ、沿道に農業集落が形成される</li> <li>新稲村の佇まいを残すまちなみや巨木が巡礼道沿いに残る</li> <li>中池公園付近はため池が点在し、親水空間整備もされ市民の憩いの場となっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部は山林、南部は農地と集落地が占める</li> <li>ため池が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西に貫通する箕面池田線が整備されており、交通量も比較的多い</li> <li>都市計画道路瀬川新稲線、田村橋通り線が計画されている</li> <li>農地内の道路は幅員4mに満たない細街路が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>箕面池田線沿道で宅地利用が進行しており、近年はコンビニエンスストアが多く立地している</li> <li>地区南西部では既存宅地制度により宅地開発がなされ、散発的に住宅が建設されている</li> <li>地区北西部で資材置き場等が見られる</li> <li>地区北東部で墓地の計画が進められている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の市街化区域は概ね一低専で、住居系の土地利用が中心で、境界部まで宅地が迫っている</li> <li>地区西部は池田市の市街化区域(一中高)と隣接しており、市境界を超えるとマンションや沿道店舗が立地している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区東部は稲作、西南部は植木・花卉の苗圃として利用している農家が多い</li> <li>西部には雑木林のような農地もある</li> <li>道路付きが良くないところや傾斜地など営農条件の悪いところで、耕作されていない農地のようなところも見られる</li> </ul>	(特になし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地所有者の大半が地区内、あるいは市内の居住者である</li> <li>市街地との混在で問題を抱える農地所有者の割合が、他地区と比較して多い</li> <li>農地として維持することを望む意見があるが、一方で市街化を望む意見もある</li> </ul>
稲・萱野地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>第四次総計：市街地ゾーンに位置</li> <li>都市 MP：市街化区域編入検討地区</li> <li>みどり・都市景観：河川や農地・ため池などのみどりの保全、昔ながらのまちなみ景観の保全・継承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千里川と支流の鍋田川に沿って平地が広がり、南側は断層による高低差で起伏に富んだ地形となっている</li> <li>西国街道沿いに農業集落が形成される</li> <li>歴史的な敷き際の形態が残り昔ながらの木造の日本家屋が建ち並ぶ</li> <li>箕面市民病院付近から農地と集落が一体となった眺望景観が得られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地と集落地が中心の土地利用となっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区内を中央線が貫通している</li> <li>農地・集落内の道路は幅員4mに満たない細街路が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区南西部端で宅地開発が見られるが、他に目立った開発はない</li> <li>国道171号沿いの農地上に通過交通を対象とした看板が立地する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の市街化区域は二中高、準住居、二住で、国道171号北側沿道はロードサイド型の商業施設が立地している</li> <li>地区東側の隣接地では、農住組合による土地区画整理事業が実施されている</li> <li>この20年間で周辺の土地利用が進んだ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1つの自治会でまとまっており、集落単位での農地の維持に取り組まれている</li> <li>耕作されていない農地等はほとんど見られない</li> </ul>	(特になし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区内・市内の土地所有者のみで、市外の土地所有者はいない</li> <li>地区の環境を高く評価している</li> <li>農地として維持することを望む意向は非常に強い</li> </ul>
石丸地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>第四次総計：市街地ゾーンに位置、都市核拠点である箕面新都心地区と隣接</li> <li>都市 MP：市街化区域編入検討地区</li> <li>みどり・都市景観：緑化重点地区(かやの中央)に隣接、河川や農地・ため池などのみどりの保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側山麓部のため池から流れる千里川、芋川沿いになだらかな傾斜の平野が広がる</li> <li>勝尾寺へ続く参道(巡礼道等)や西国街道沿いに農業集落が形成される</li> <li>まとまった農地・河川が広がる眺望景観が得られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地の他に、一般市街地、学校・運動場など他の地区と比較して都市的土地利用が混在している</li> <li>千里2号線以西は、比較的まとまった農地が見られる</li> <li>千里2号線以东は、北側にまとまった農地もあるが、南側は資材置き場・駐車場等と農地が混在している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南北に貫通する千里2号線が整備されている</li> <li>かやの中央から接続する都市計画道路萱野東西線が計画されている</li> <li>農地内の道路は幅員4mに満たない細街路が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道171号沿道はロードサイド型の商業店舗などが立地する</li> <li>規模の大きい老人保健施設やマンションの立地など、散発的な土地利用が見られる</li> <li>千里2号線以东を中心に、道路沿道で資材置き場・駐車場等が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の市街化区域は一中高、二中高、準住居である</li> <li>地区西側には都市核拠点であるかやの中央が隣接し敷地整序とともに住宅等の立地が進んでおり、将来的には北大阪急行の延伸が計画されている</li> <li>この20年間で周辺の土地利用が進んだ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千里2号線以西では、一部で耕作されていない農地のようなところが見られる</li> <li>千里2号線以东では、一部で耕作されていない農地のようなところが見られ、道路に接する敷地では資材置き場や駐車場として利用されているところもある</li> </ul>	(特になし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答した土地所有者の半数は地区外に居住している</li> <li>市街地との混在で問題を抱える農地所有者の割合が、他地区と比較して多い</li> <li>農地として維持することを望む意見があるが、一方で市街化を望む意見もある</li> </ul>

地区名	上位計画での位置づけ	地形・なり立ち・自然・景観など	土地利用 など				営農状況	まちづくりの経緯	土地所有者の意向(アンケート結果)	
			土地利用現況	基盤整備の状況	開発の状況	地区周辺の状況				
粟生地区	-1 地区南側	<ul style="list-style-type: none"> <li>第四次総計：市街地ゾーンに位置、彩都へのネットワーク軸</li> <li>都市 MP:市街化区域編入検討地区</li> <li>みどり・都市景観：山麓部のみどりの保全、農地・ため池の保全、歴史や文化を感じさせるまちなみの保全・たたずまいの継承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山麓部と連続した斜面地となっている</li> <li>西国街道の新家の大鳥居から勝尾寺へと表参道が貫通し、沿道には道標・町石が点在している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地・山林が中心の土地利用となっている</li> <li>大規模工場地(双葉産業)が含まれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山麓線から彩都までをつなぐ都市計画道路国文都市4号線が計画されている</li> <li>地区内道路は未整備で、車でのアクセスは困難である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山麓線は交通量も多く、沿道で住宅・店舗が立地している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の市街化区域は一低専、一中高である</li> <li>住宅地(UR 粟生第2住宅)や計画的に開発された戸建て住宅地(粟生間谷・青松園)が隣接している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区南西部の農地には市民農園が集積している</li> <li>地区東部は崖地となっており、道路付きが良くなく耕作されていない農地のようなところがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成13年に面整備(区画整理)事業を検討された経緯があり、現在も区域設定などを変えて再度検討されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答した土地所有者のうち、地区内居住者が1/3にとどまり、1/3が市内、1/3が市外の居住者である</li> <li>農地として維持することを望む意見があるが、一方で市街化を望む意見もある</li> </ul>
	-2 地区北側	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝尾寺川に沿った谷筋、勝尾寺へと続く道沿いに農業集落が形成されている</li> <li>勝尾寺川沿いは緑豊かでホタルが飛ぶ様子も見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地・集落地・山林が中心の土地利用となっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>府道茨木能勢線が整備されている</li> <li>農地・集落地内道路は幅員4mに満たない細街路が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな開発等は実施されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落の自治組織がある</li> <li>耕作されていない農地等はほとんど見られない</li> </ul>	(特になし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答した土地所有者の大半が地区内に居住している</li> <li>農地として維持することを望む意見があるが、一方で市街化を望む意見もある</li> </ul>		
川合・山の口地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>第四次総計：市街地ゾーンに位置</li> <li>都市 MP:北部は市街化区域編入予定地区、南部は市街化区域編入検討地区</li> <li>みどり・都市景観：山麓部のみどりの保全、農地・ため池の保全、歴史や文化を感じさせるまちなみの保全・たたずまいの継承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝尾寺川に沿った谷筋、勝尾寺へと続く道沿いに農業集落が形成されている</li> <li>勝尾寺川沿いは緑豊かでホタルが飛ぶ様子も見られる</li> <li>勝尾寺川と水田、山林が一体となった眺望景観が得られ、茨木箕面丘陵線から一望できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地と集落地と山林が中心の土地利用となっている</li> <li>茨木箕面丘陵線・モノレール専用道の整備に伴い東西に分断されているが、土地利用に変化は見られない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>彩都への主要アクセスルートとなる茨木箕面丘陵線・モノレール専用道が整備されている</li> <li>農地内の道路は幅員4mに満たない細街路が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区南部に老人福祉施設が立地している</li> <li>府道茨木能勢線沿道では土地利用が進行し、店舗等が立地している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の市街化区域は一低専・二住(北部)、二中高(南部)である</li> <li>地区の北側では彩都の整備が進められており、茨木箕面丘陵線・大阪モノレールの開通によって土地利用が進んだ</li> <li>地区東部は茨木市の市街化調整区域と隣接しており、集落・農地の土地利用が連たんしている</li> <li>茨木能勢線沿道には商業店舗(コンビニエンスストア)や賃貸マンションが立地している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川合地区・山の口地区それぞれに自治組織がある</li> <li>耕作されていない農地等はほとんど見られない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成7~11年頃に国際文化公園都市に関連して、北部の面整備の検討が行われたが、事業化に至らなかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答した土地所有者の4割が市外に居住している</li> <li>耕作を委託している農地所有者の割合は他地区と比較して高い</li> <li>農地として維持することを望む意見があるが、一方で市街化を望む意見は他地区に比較して多い</li> </ul>	
止々呂美地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>第四次総計：農住ゾーンに位置、新市街地の整備とあわせた地域課題の解決、生活基盤の整備による利便性の高いまち、第二名神・国道423号バイパス開通に対応した土地利用の検討と地域整備の推進など</li> <li>都市 MP:市街化区域編入予定地区</li> <li>みどり・都市景観：山間部のみどりの保全、農地の保全、山里景観の保全・継承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>余野川に沿った谷間に集落が点在し、わずかの平地と緩い傾斜地が農地として利用されている</li> <li>傾斜地は里山的植生が残る山林となっており、それらを後背地とし集落と農地が一体となった景観を形成している</li> <li>保護樹木・保護樹林が多数指定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地・集落地・山林が大半を占める</li> <li>地区周辺はほとんどが山林と農地である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H19年10月より御堂筋線(箕面有料道路)と止々呂美東西線が供用開始されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな開発等は実施されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区西部で箕面森町の整備が進められている</li> <li>道路交通の面からは池田とのつながりが強いが、御堂筋線(箕面有料道路)が開通し大阪方面との利便性も向上した</li> <li>新名神高速道路の整備が計画されている(平成30年供用開始予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>畑地ではびわ、くり、柚子などの特産品を栽培している</li> <li>傾斜地の棚田などで耕作されていない農地のようなところが見られる</li> <li>農業NPOが農業塾を主宰し、営農支援を実施するなどの取り組みが見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成14年にまちづくり協議会で道の駅を核とした構想を取りまとめている</li> <li>平成15年にまちづくり基本構想を策定している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答した土地所有者の半数が市外に居住している</li> <li>現在の環境は不便で寂しいと感じる割合が高く、店舗・住宅地の立地を望む意見が他地区に比較して多い</li> </ul>	

# 検討対象地区の地区別現況まとめ (図面)

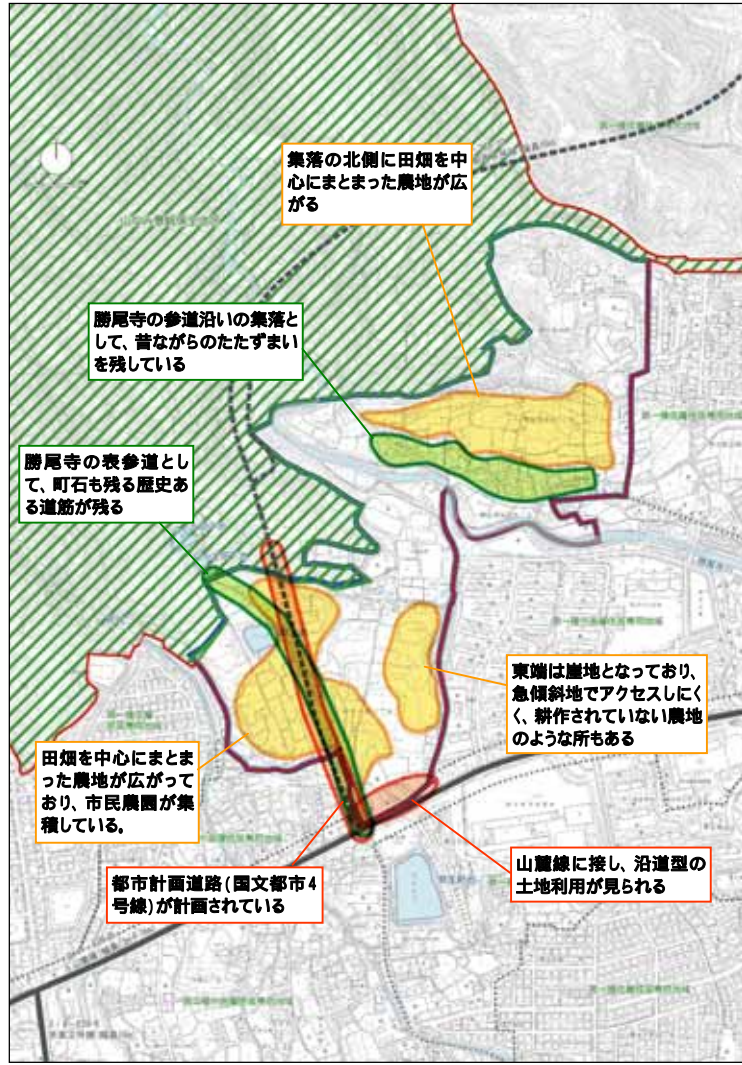
## 新稲地区

(新稲一・二・四～六丁目の一部)



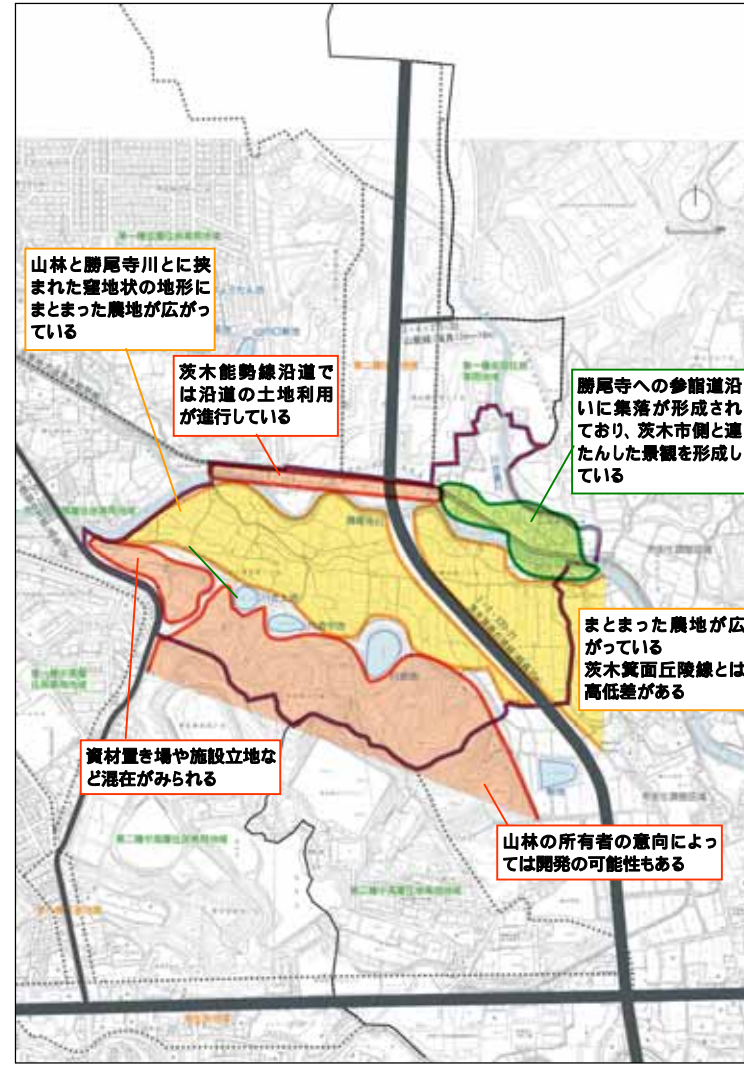
## 粟生地区

(外院三丁目、粟生外院六丁目、粟生間谷西五・六丁目の一部)



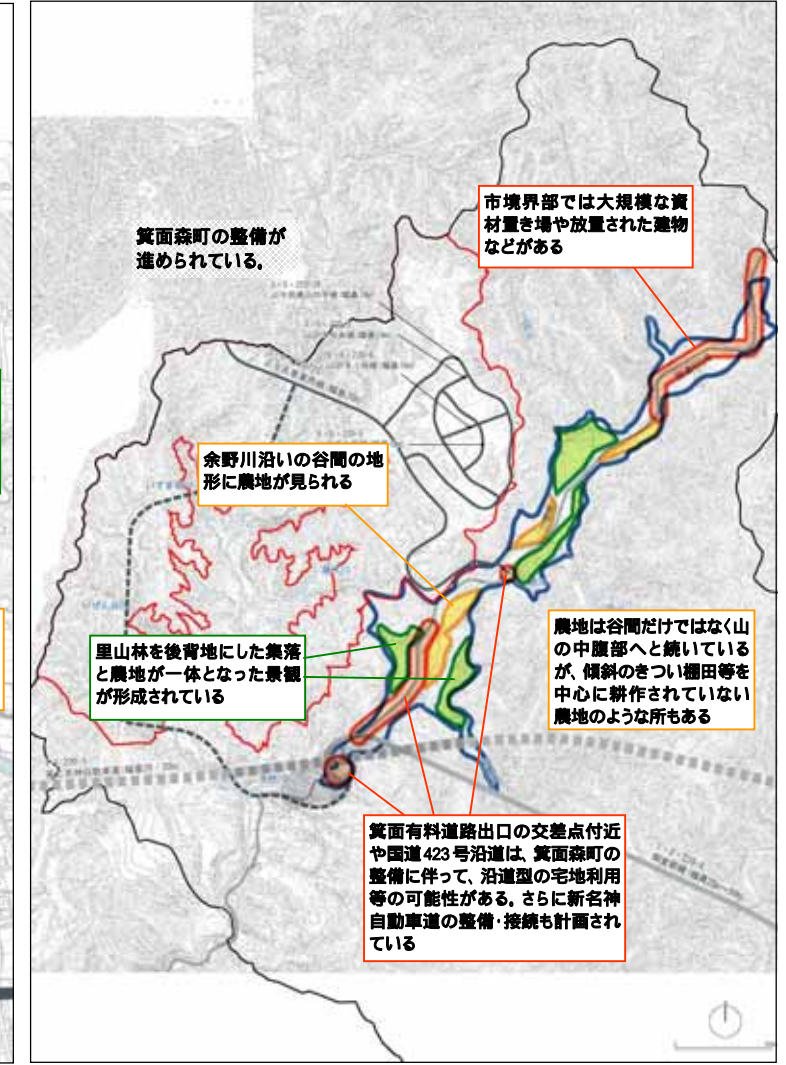
## 川合・山の口地区

(粟生間谷東一～三丁目の一部)



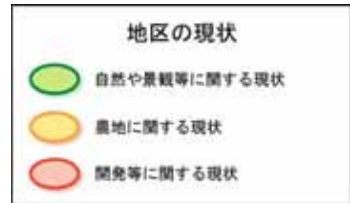
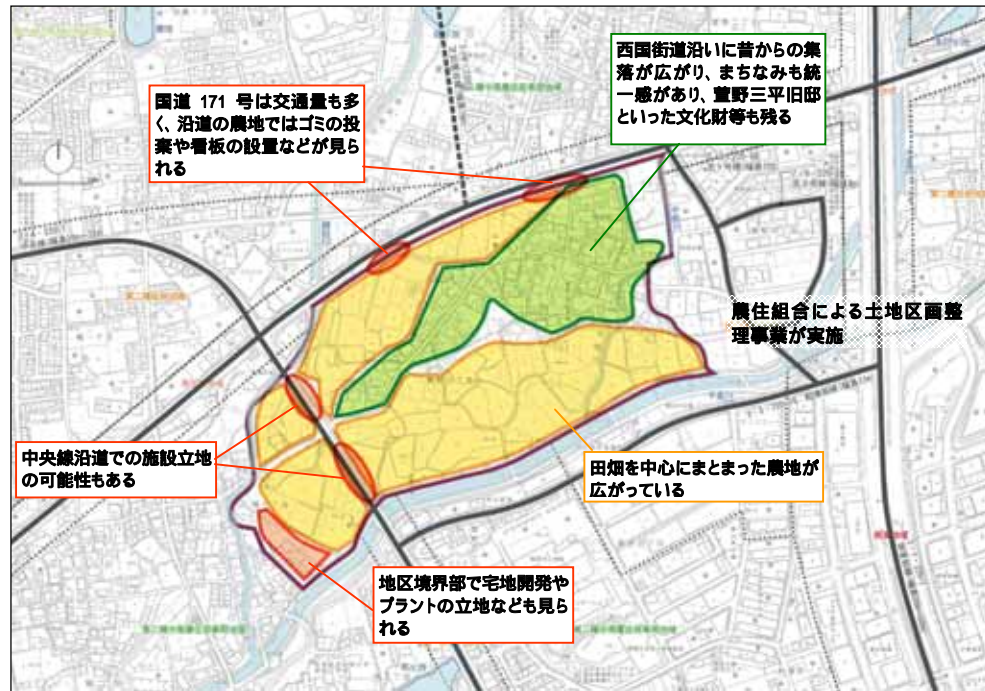
## 止々呂美地区

(上止々呂美・下止々呂美の一部)



## 稲・萱野地区

(稲三丁目・萱野三丁目の一部)



## 石丸地区

(白鳥一・二丁目、西宿一・二丁目、今宮一・二丁目、石丸一丁目、外院一丁目、粟生外院一丁目・二丁目の一部)

